

新宮山彦ぐるーぷ第1958回

持経宿・千年檜・平治宿等の迎春準備など

◇実施日；2017年12月17日(日)雪しぐれ時々薄日。14℃。

◇参加者；志岐 敬、山本直子(持経宿前泊)。

川島 功、児嶋道夫、濱野兼吉、生熊敏男、山川治雄、
上村洋司・和美、梶野照雄。 10名。

前泊班；奈良市・志岐 敬、山本直子。

◇12月16日(土) 曇り後雨のち雪。

持経宿・平治宿の迎春準備行事に参加するため、前日16日、近鉄・上市駅からゆうゆうバスで池原へ。池原からは白谷池郷林道を歩いて持経宿へ向かうことにした。

上市駅を8時30分発のゆうゆうバスで池原バス停着10時37分。ヤマザキショップでトイレを済ませ、山本さんお手製のおにぎりを食べて11時10分に出発。

ゆるやかな林道を歩き出すが、天候は曇で雨雲が厚い。舗装された道には小石がいっぱい。2人で邪魔になりそうな石を除けながら歩く。

谷を捲きながら時折少し勾配が急になる林道を延々と歩く。石と戯れながら歩いているのでペースは遅い。やつと石ヤ塔展望所。そこからひとがんばりで林道ゲートに13時30着。

風に吹かれ上着を羽織って、残りのおにぎりを食べて、一服してゲートを越える。

歩き出してすぐに雨が降り出し、少し我慢するが止みそうもないので雨具を着用。高度が上がリ、時々強い風が吹く。幸い雨脚はそんなに強くない。

いつのまにか高度1000メートルを超え、奥駈道の縦走路と並行してくる。

この辺りから道に雪が付いている。轍と獣の足跡も残っている。

15時、持経宿に到着。まず水場へ。ホースからはしつかり水が出ているが、周りの流れは凍結している。ホース手元のテープが緩み外れていた。

小屋に戻り、ストーブと囲炉裏に火を入れて暖を取るが、囲炉裏の方は煙って目が痛くなり、せつかく暖まった空気を入れ換える。

うどんすきと燗酒、ホットウイスキーでまったり時間を過ごす。日が落ちる頃から風雪となる。



約2時間半弱で林道ゲート着！



標高1000mの積雪林道にて



水場の周りは氷結

(記 志岐)

今季一番の西高東低の冬型配置より、北陸以北の日本海側と北海道は例年以上に積雪が多くなっている。16日には一旦弱まり、当地では雨が予想されたが雨が殆んど降らなかつた。前線通過と共に再び強い冬型気圧配置に戻る。ラニーニャ現象が発生しており、今冬は寒さが厳しく長続きしそうとの予報になっている。

新宮7時半前に発ち、宮井大橋辺りからの北の空には、雪雲らしい空模様で、持経宿辺りは雪しぐれになっている事を覚悟する。池原スポーツ公園駐車場に着くと、上村車(山川氏同乗)、梶野車が既に待機。池郷川を挟んだ山並みは白くかすみ、雪しぐれ模様である。

風も在り寒くて簡単に打合せ。志岐・山本さんは、予定通り持経宿に前泊していると、梶野氏から報告がある。

池郷林道に入ると雪の舞う雪しぐれで、大きな落石や支障になる落石を除けながら走行する。ゲート近くまで辿ると路面は真っ白な雪道になる。冬用タイヤ着用の川島・梶野車に対して上村車はノーマルタイヤであるが、大きな4WDであり最後尾から付いて来ている。



池原公園Pで合流



林道ゲート前



細い杉を鋸で切除

ゲートを過ぎると一番路面の荒れている地点で、車底を打たない様に超スローで進んだが、段差で川島車の後輪がスリップして

進めない。同乗者の生熊・児嶋氏に降りて貰い、少しバックして勢いを付けて通過する。梶野・上村車は、難なく通過する。うっすらした雪の地道は、かえってタイヤヘグリップが効き、スリップの心配が少ない。風が強く路面の雪が吹き飛んでいる。

前回横に除けた大岩傍の道幅は、心なしか広くなった様に感じ、難なく通過。大バール・石ノミ・大ハンマーを持参したが、使う必要が無かつた。

根返りした倒木を過ぎ、2箇所目の路面の悪い箇所に来ると細い杉が道を塞いでいる、と同時にドスンと車底を打つ。

生熊氏鋸で切除し、児嶋氏が路外に除ける。走行するとマフラー周りに小さな異音がするが走行に支障なし。

その後、邪魔な落石を除けながら、普段と変わらない時間の9時半に持経宿に到着、前夜宿泊の両名と挨拶を交わす。



雪化粧の持経宿



注連飾り等の荷を運ぶ



小屋に到着し挨拶

小屋に着くと、山川氏は携帯ブロワー、梶野氏は発電機を廻して小型ブロワーでトコ网上的落葉を除去するのに持参された。

梯子に上がり、ブロワーを 작동させるが、新雪は吹き飛ばすが、网上的落葉等は氷結の為、全く吹き飛ばない。後ほどドライバール等で取除くことにする。

とりあえず、川島・児嶋・濱野の3氏が、平治宿に行く事を伝

えると、梶野氏がストーブ手直しに行くとの事から、川島が残る事にする。

今回、水場へ行かず正月飾り作業主体のため、この時刻では持経宿に戻って来て頂き、昼食にする事にする。

平治宿班は、児嶋・濱野・梶野・上村(洋)・山本・志岐氏が行く事になる。

平治宿班が出発後、千年檜祠の正月飾り(上村和)、アルミ大梯子(山川・川島)を持って10時過ぎに千年檜へ。

千年檜に大梯子を立て掛け、川島が末端で結わえた紐を切り、旧注連縄を取り外す。なにしろ冷え込んでいて指先が痛くなる。



トユ網上をブローワで



大梯子を運ぶ



旧注連縄を外す



新注連縄を張る



シデの向き調整



千年檜作業班

生熊氏は、シデ7本を付けた新注連縄を持って登ってくる。生熊氏と川島は、注連縄を飾る位置に枝で持上げ、上村さんの支える梯子に山川氏が上り、注連縄を締めて張替える。

その後、川島は千年檜祠に注連飾りと鏡餅、お神酒とお供えを取替えて、千年檜作業班は10時30分頃に持経宿に戻る。

持経宿玄関に注連飾り、不動堂にも注連飾りを付け、不動明王像前の三宝に鏡餅、お神酒とお供え菓子を取替えると、三宝のお供え菓子はネズミに食べられ包み紙だけの菓子袋もある。三宝の上はどうして登ったのであろうか? . . . 駆除が必要であるが、宿泊時にしか駆除できないことになる。

トユ網上の氷結の落葉は、網目に氷結が入り込んでいるのでドライバーでは取除けず、来春に掃除する事にする。

山川さんは、玄関前を携帯ブローワで新雪と落葉を吹き飛ばして下さる。

宿内の迎春準備を11時15分頃に終了し、囲炉裏で薪を焚き、自在鍵にヤカンの取っ手を引っ掛けてお湯を沸かす。



持経宿の注連飾り



不動堂の注連飾り



宿内の鏡餅とお神酒

煙抜きが無くなったので、たちまち宿内に煙が充満して、立つと煙が目が痛い。とりわけ若い人には経験が少ないので耐えられずに屋外へ。この時点での屋外気温は、マイナス4℃とのこと。

平治宿班

◇参加者：濱野、児嶋、上村(洋)、山本、志岐、梶野。 6名。

池原から一時間かけて慎重に林道を進み、午前9時半には持経宿に到着した。9時45分、平治宿に向けて出発。気温が低いのに、風も強くて歩き出しからフードを被った。



持経宿出発



中又尾根分岐



平治宿到着

奥駈道には1cm程の積雪がある。足跡は全くないので、アイゼン無しでもなんとか滑らずに歩けたが、踏み跡で固まった雪はすぐに氷になるので、今後はアイゼンが必要になるだろう。

途中、休憩なしで10時22分に平治宿到着。上村さんはストーブに火を、濱野さんは玄関のしめ縄の取り付け、児嶋さんは電源の点検、山本、志岐さんは小屋内の清掃、梶野はストーブ上部蓋をビスで固定とそれぞれ分担して作業。

鏡餅が机の上に置かれ、ストーブで火が燃えだすと、小屋内の温度は一気に上昇、到着時にマイナス6℃だったのがプラス1℃になった。平治宿小屋は容積が小さいので、ストーブの効果は高いようだ。

玄関の門柱と東側の立木の間にはロープを張って、先週中途半端

に終わった絨毯の掃除をした。2枚とも5分ほどたたいたが、ものすごい埃で、慌てて開いていたドアを閉める場面もあった。小屋内に絨毯を戻してみると、黒っぽかった色が少し明るくなった様な気がする。



玄関のしめ縄

机に鏡餅とお神酒

絨毯の掃除

昼食は持経宿に帰ってからとしたが、作業が終了した時点でコマカカフェが開店、屋外は寒いので小屋内で全員の写真を撮り11時20分戸締りを確認して持経宿に向かった。



平治宿内にて

行動タイム

持経宿09:45→10:22中又尾根分岐→10:40平治宿11:20→12:10
持経宿。
(記；梶野)

平治宿班の上村氏が先行到着後、12時10分に全員が持経宿に戻り昼食となり、沸いたお湯でラーメン等を作り各自で昼食。昼食も終わり、上村さん差し入れの菓子等でコーヒータイム。

食事後、転落防止の腐朽木製杭は、来春に「くい丸」に取替えることとして、応急的に立木桜と短い杭を打ち込み結わる処置をした。又、梶野氏が薪小屋の丁番ネジを取替えて下さる。

玄関横の薪置場へ薪を運び、ポリタンクの水は既に一部氷っていて、凍結によるポリタンク割れを防ぐため、残っていたポリタンクの水を全て捨てて空にした。

上村夫妻と山川さんは、16時迄に帰新必着したいとの事から13時頃に下山。

下山前に残り7名で写真を撮り、川島車(児嶋・濱野・生熊氏同乗)と梶野車(志岐・山本さん同乗)にて、13時15分過ぎに下山する。



下山準備



下山前に記念撮影



林道ゲートに戻る

林道ゲートから下るにつれ雪も無くなり、トラブルも無く無事14時過ぎに池原スポーツ公園駐車場に戻り解散。

行動タイム

新宮7:25→8:30池原スポーツ公園8:35→8:55池郷林道ゲート
→9:30持経宿9:45→10:40平治宿11:20→12:10持経宿13:18
→14:05池原スポーツ公園P14:20(解散)。
(記；川島)